

株式会社メニコン

2026年3月期 決算説明会

証券コード：7780

2026年5月14日

- I 2026年3月期 連結業績概要
- II 2027年3月期通期 連結業績予想と配当予想
- III 中期経営計画マイルストーン2027の進捗と今後の見通し



I .2026年3月期 連結業績概要



2026年3月期 連結業績サマリー

ビジョンケア事業の伸長により増収増益

(百万円)	2025/3期	2026/3期	前年同期比	前年同期比 (為替影響除き)
売上高	121,491	125,605	+3.4%	+2.6%
売上原価	56,456	58,006	+2.7%	+1.8%
(原価率)	46.5%	46.2%	(△0.3pt)	-
売上総利益	65,034	67,599	+3.9%	+3.3%
販売費及び一般管理費	55,022	57,363	+4.3%	+2.9%
(売上高販管費率)	45.3%	45.7%	(+0.4pt)	-
営業利益	10,012	10,236	+2.2%	+5.4%
(売上高営業利益率)	8.2%	8.1%	(△0.1pt)	-
EBITDA*	18,457	21,054	+14.1%	+15.8%
(EBITDAマージン)	15.2%	16.8%	(+1.6pt)	-
経常利益	9,567	11,021	+15.2%	+17.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,597	5,916	+5.7%	+10.9%

2025/3期における実勢レート EUR : 163.7円、USD : 152.6円、CNY : 21.1円
 2026/3期における実勢レート EUR : 175.6円、USD : 151.1円、CNY : 20.9円

(参考)過去の数値は以下のデータブックよりご確認いただけます。
<https://www.menicon.co.jp/company/ir/databook.html> 3

* EBITDAは営業利益、減価償却費、のれん償却から算出



2026年3月期 連結業績 決算のポイント

国内外での1DAY販売拡大により伸長、成長投資を継続するも利益伸長

売上高 1,256億円 **前年同期比** +3.4%

ビジョンケア事業 **売上高** 1,165億円 **前年同期比** +3.7% (現地通貨建による伸長 +2.9%)

↑ 1DAY:供給量増加によるメガ会員数増加/国内外販売拡大 → オルソ関連:グローバルで販売拡大するも中国で停滞し横ばい

ヘルスケア・ライフケア事業 **売上高** 90億円 **前年同期比** △0.9% (現地通貨建による伸長 △0.9%)

↑ ライフケア事業での堆肥化関連ビジネス伸長 ↓ 中国での食品事業規模縮小

売上総利益 675億円 **前年同期比** +3.9% • ↑ 1DAYとその他CL・ケアの販売拡大による増収効果

営業利益 102億円 **前年同期比** +2.2% • 将来の成長のための投資（新工場/人的補強）を継続

EBITDA 210億円 **前年同期比** +14.1% • ↑ 1DAY販売拡大等による売上総利益増加により増益

当期純利益 59億円 **前年同期比** +5.7% • オルソ関連の無形固定資産及び特殊レンズの販売会社ののれん等の減損損失、欧州の構造改革費用等により、特別損失を21億円計上



売上高の内訳

1DAYの供給量増加と海外の牽引による販売拡大により、ビジョンケア事業が伸長

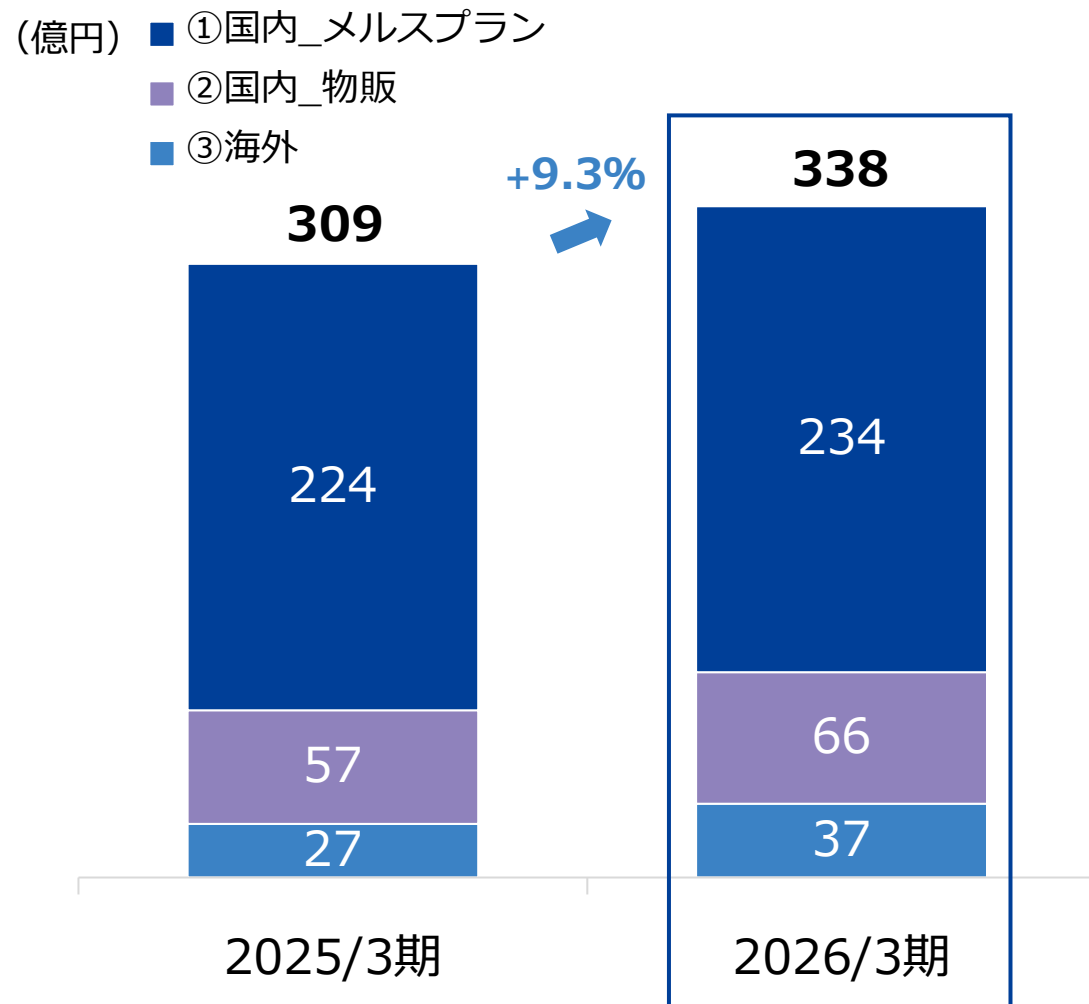
(百万円)	2025/3期	2026/3期	前年同期比	前年同期比 (為替影響除き)
売上高	121,491	125,605	+3.4%	+2.6%
ビジョンケア*	112,327	116,523	+3.7%	+2.9%
1DAY	30,940	33,809	+9.3%	+8.7%
国内_メルスプラン	22,458	23,403	+4.2%	-
国内_物販	5,740	6,651	+15.9%	-
海外	2,742	3,755	+36.9%	+30.5%
オルソケラトロジー関連	14,889	14,539	△2.4%	△1.8%
その他コンタクトレンズ・レンズケア	66,496	68,174	+2.5%	+1.2%
ヘルスケア・ライフケア	9,163	9,081	△0.9%	△0.9%
1DAY+その他コンタクトレンズ・レンズケア	97,437	101,984	+4.7%	+3.6%
メルスプラン	49,783	50,687	+1.8%	-

* 2025/3期における実勢レート EUR : 163.7円、USD : 152.6円、CNY : 21.1円
 2026/3期における実勢レート EUR : 175.6円、USD : 151.1円、CNY : 20.9円



1DAY売上高（売上高の内訳）

供給量増加に伴い、海外を筆頭にグローバルで成長



1 国内_メルスプラン（前年同期比：+9.4億円 +4.2%）

- 供給制限の解除による販促強化でメルスの1DAY会員数増加
- 価格改定効果

2 国内_物販（前年同期比：+9.1億円 +15.9%）

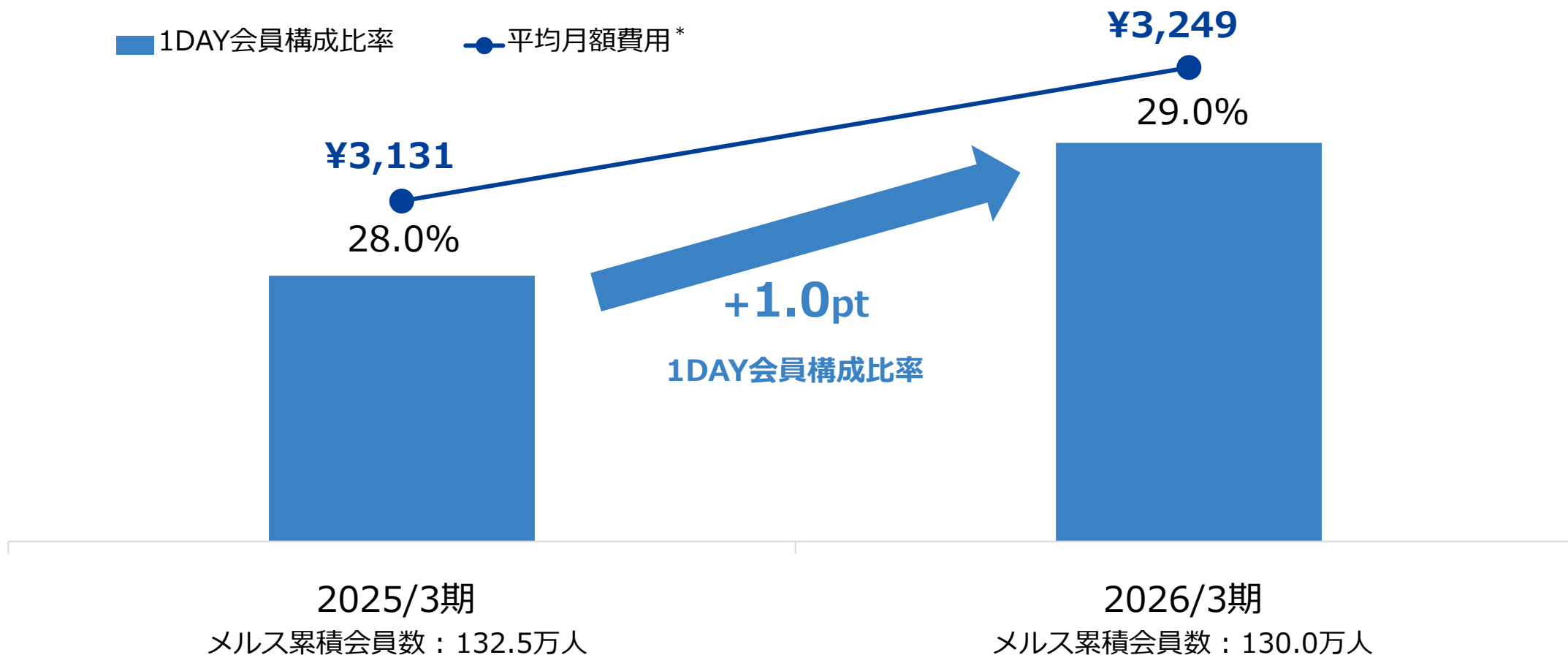
- 供給量増加を背景とした販促強化により販売拡大
- 価格改定効果

3 海外（前年同期比：+10.1億円 +36.9%）

- 欧米における量販チェーンからの受注増加により販売拡大
- 中国での大手ECサイトの販売拡大

メルスプラン会員構成と平均月額費用推移

販促活動強化による1DAY構成比率が上昇し、平均月額費用が増加



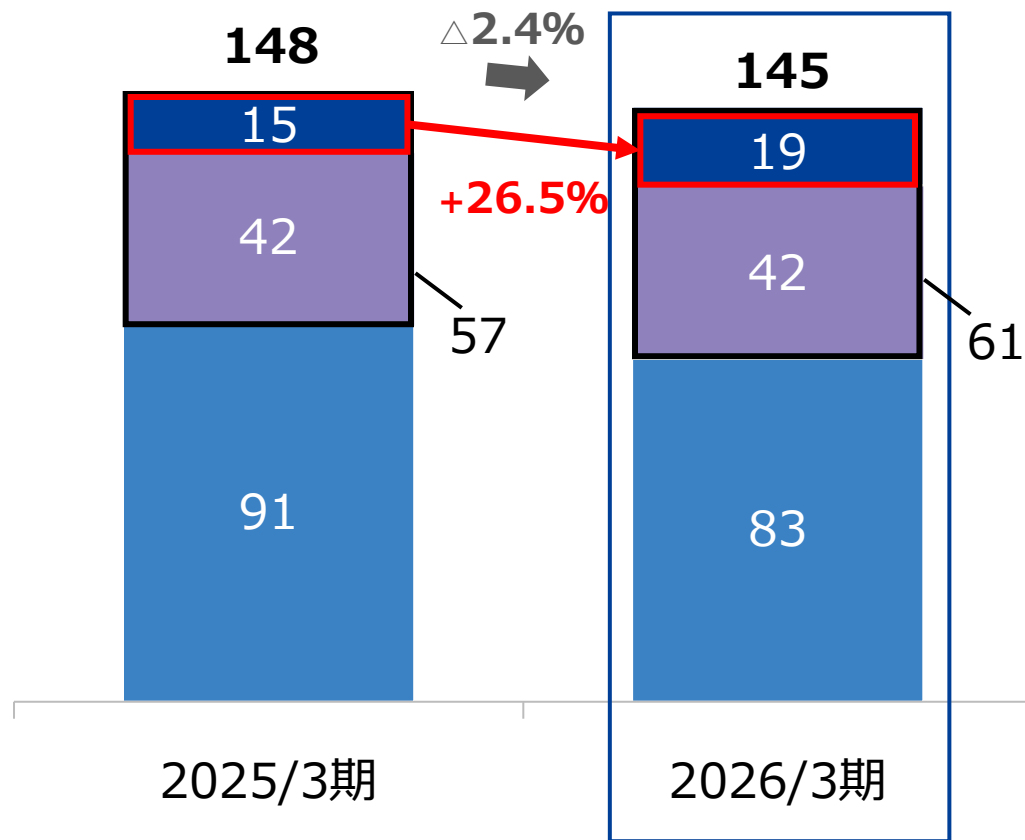
* 平均月額費用 = メルス売上高 ÷ 決算月数 ÷ メルス会員数



オルソケラトロジー関連売上高（売上高の内訳）

中国での景気停滞影響や競争環境激化が継続する一方、オルソKはグローバルで販売拡大

(億円) ■ ①オルソK(グローバル)_国内・欧州等
 ■ ①オルソK(グローバル)_中国
 ■ ②レンズケア(アジア)



① オルソK(グローバル)* (前年同期比：+4.0億円 +7.0%)

- 国内：当社取扱施設拡大 (+3.0億円)
- 欧州および韓国/東南アジア：販売拡大
- 中国：厳しい市場環境においても得意先との関係強化により横ばい (△0.0億円)

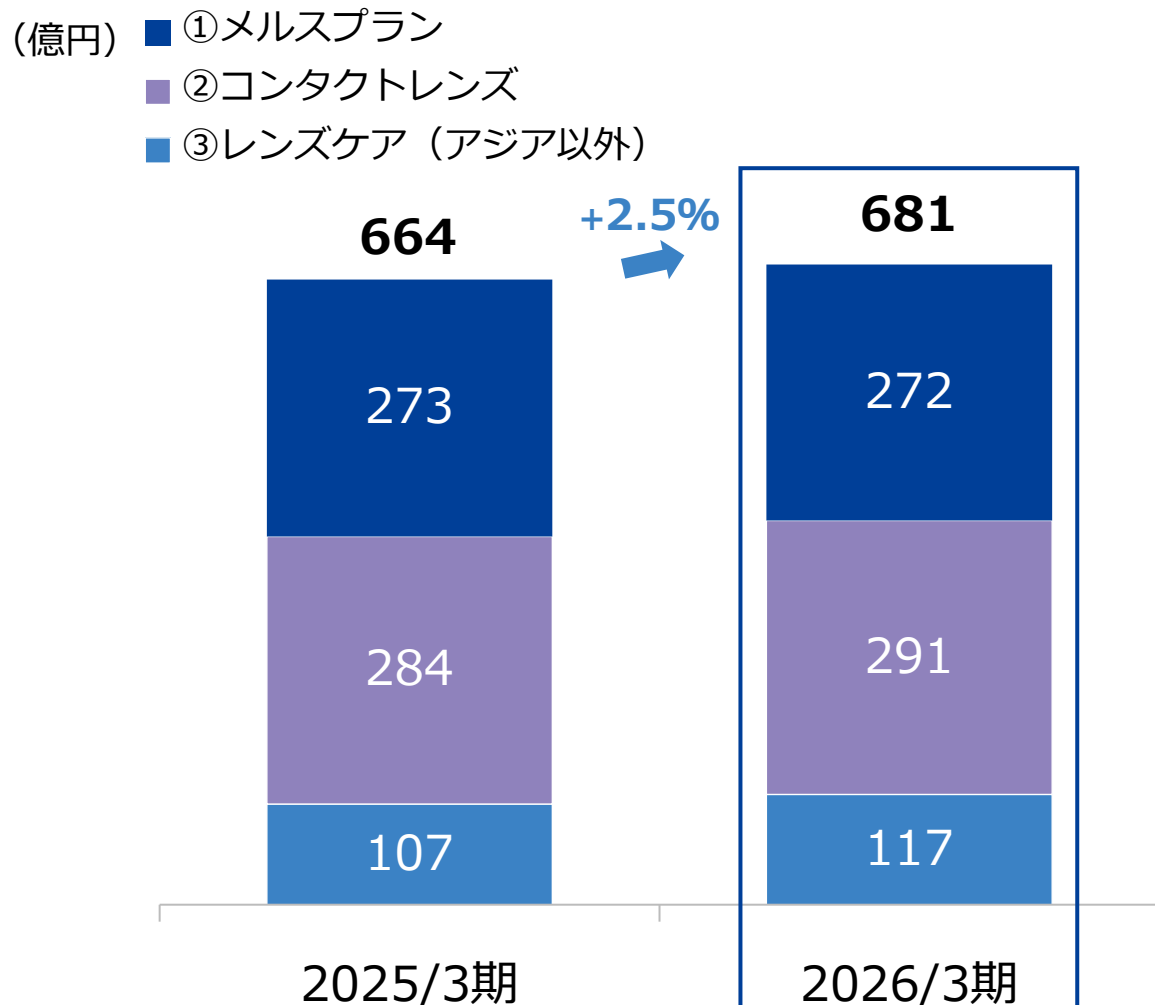
② レンズケア(アジア) (前年同期比：△7.5億円 △8.2%)

- 中国：オルソK代替品普及や競争環境激化、円高による影響 (△11.0億円)



その他コンタクトレンズ・レンズケア売上高（売上高の内訳）

欧州での1MONTH販売拡大等に加え、国内・北米でのレンズケア販売拡大により伸長



① メルス（前年同期比：△0.4億円 △0.1%）

- 1DAY需要増加により1DAY以外の会員数減少
- 価格改定効果

② コンタクトレンズ（前年同期比：+7.0億円 +2.5%）

- 欧州での1MONTH販売拡大
- 東南アジアでのM&A効果

③ レンズケア（アジア以外）（前年同期比：+10.1億円 +9.4%）

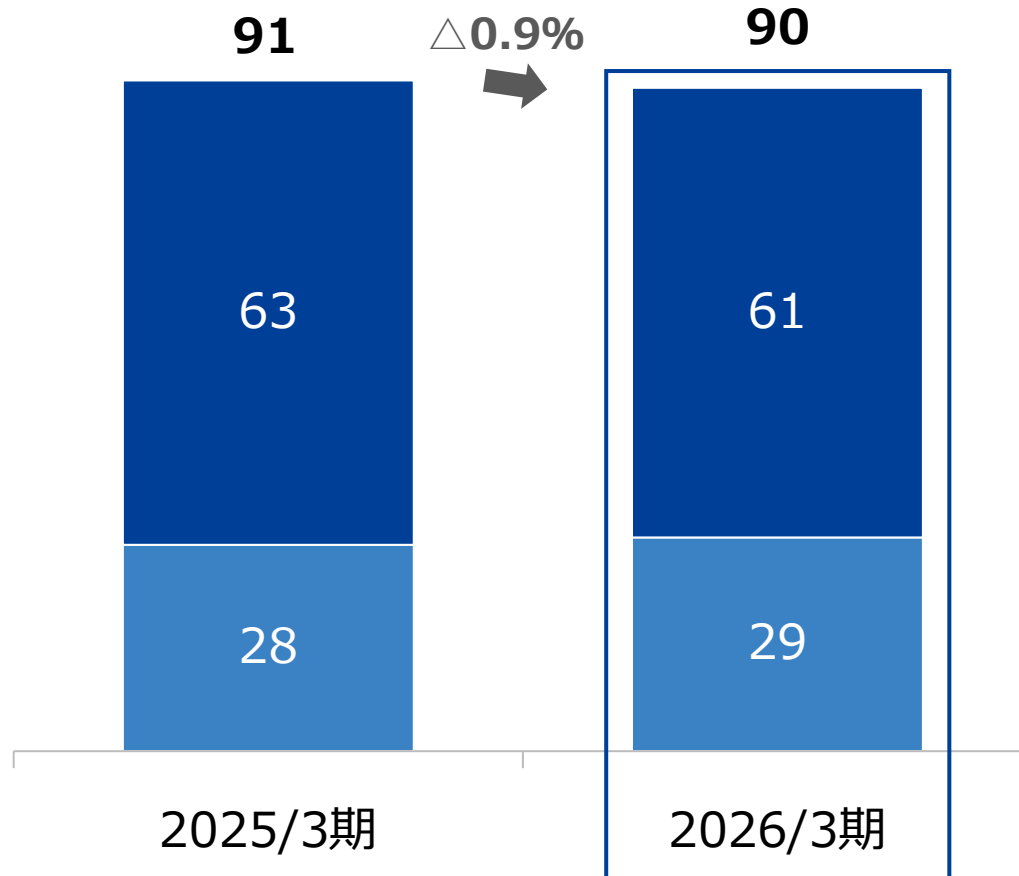
- 北米での新規取引開始による販売拡大
- 国内での高単価製品の販売拡大



ヘルスケア・ライフケア売上高

食品事業が減少する一方、ライフケア事業での堆肥化関連ビジネス伸長により横ばい

(億円) ■ ①食品事業
■ ②その他



① 食品事業 (前年同期比 : $\Delta 1.6$ 億円 $\Delta 2.7\%$)

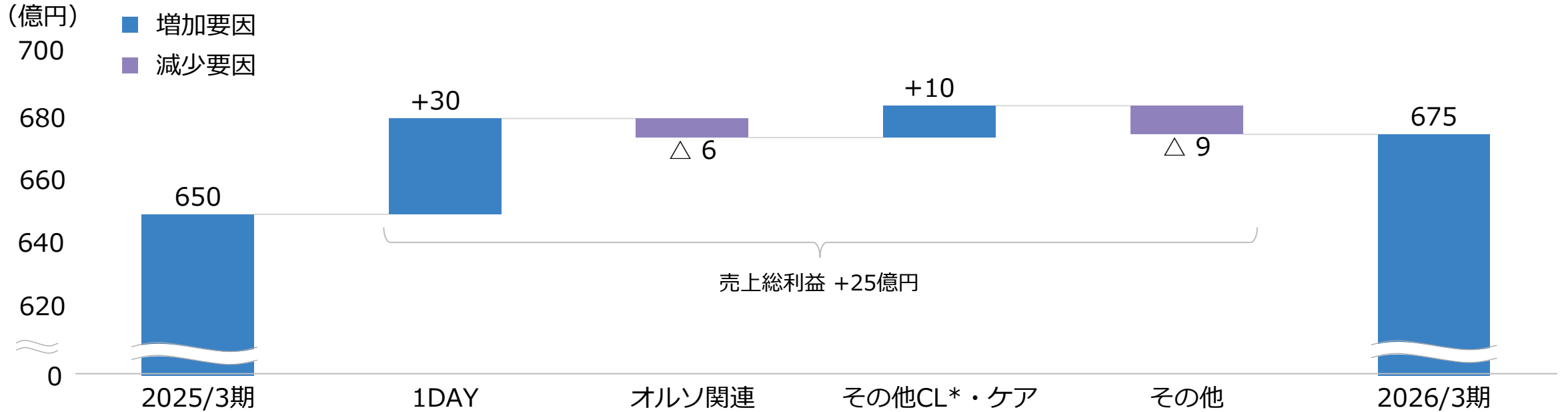
- ・ 米国を中心とした販路拡大、中国での事業規模縮小

② その他 (前年同期比 : $+0.8$ 億円 $+3.1\%$)

- ・ ライフケア事業での堆肥化関連ビジネス等の売上高増加

前年実績と今回実績の増減分析（売上総利益）

1DAYやその他コンタクトレンズ・レンズケアの販売拡大により増益



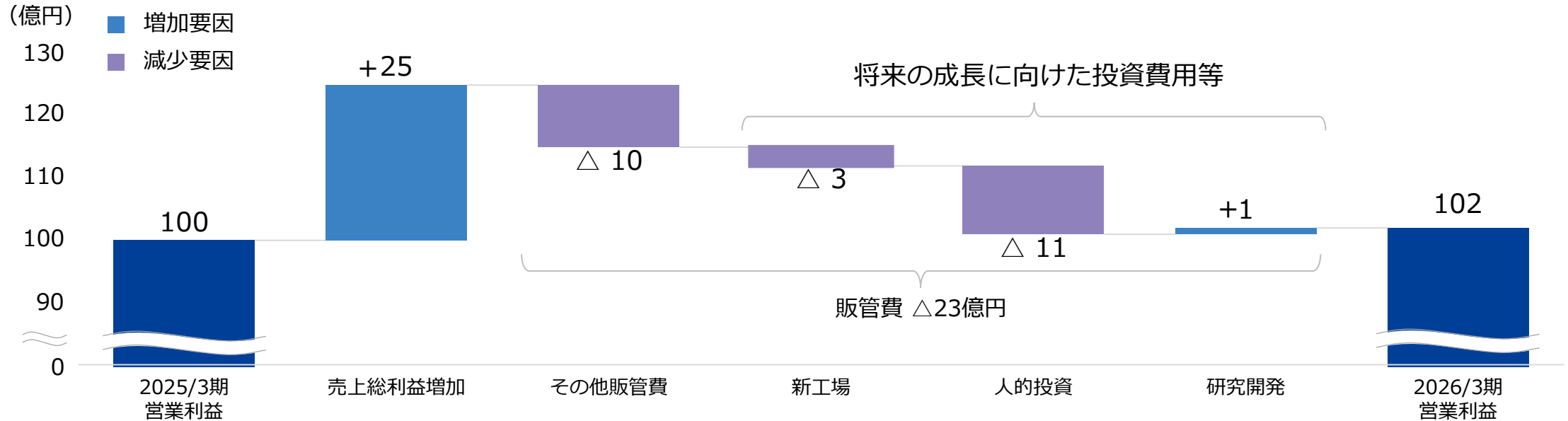
・主な増減理由

	項目
1DAY	メルスプラン1DAY会員数増加や販売拡大、海外での大手量販チェーンからの受注増加
オルソ関連	国内で販売拡大する一方、中国での景気停滞影響や競争環境激化等による影響
その他CL*・ケア	欧州での1MONTH販売拡大、国内/北米でのレンズケア販売拡大
その他	ヘルスケア・ライフケアでの売上高減少による影響、会計処理等

* コンタクトレンズの略称

前年実績と今回実績の増減分析（営業利益）

成長投資実行や非定常費用等が発生したものの、1DAY販売増加により増益

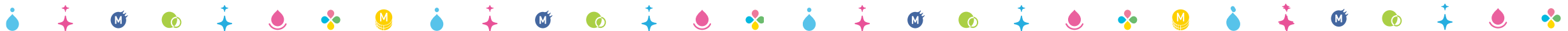


・ その他販管費の主な内訳

項目	金額 (億円)
のれん償却費	△5
荷造運賃	△2

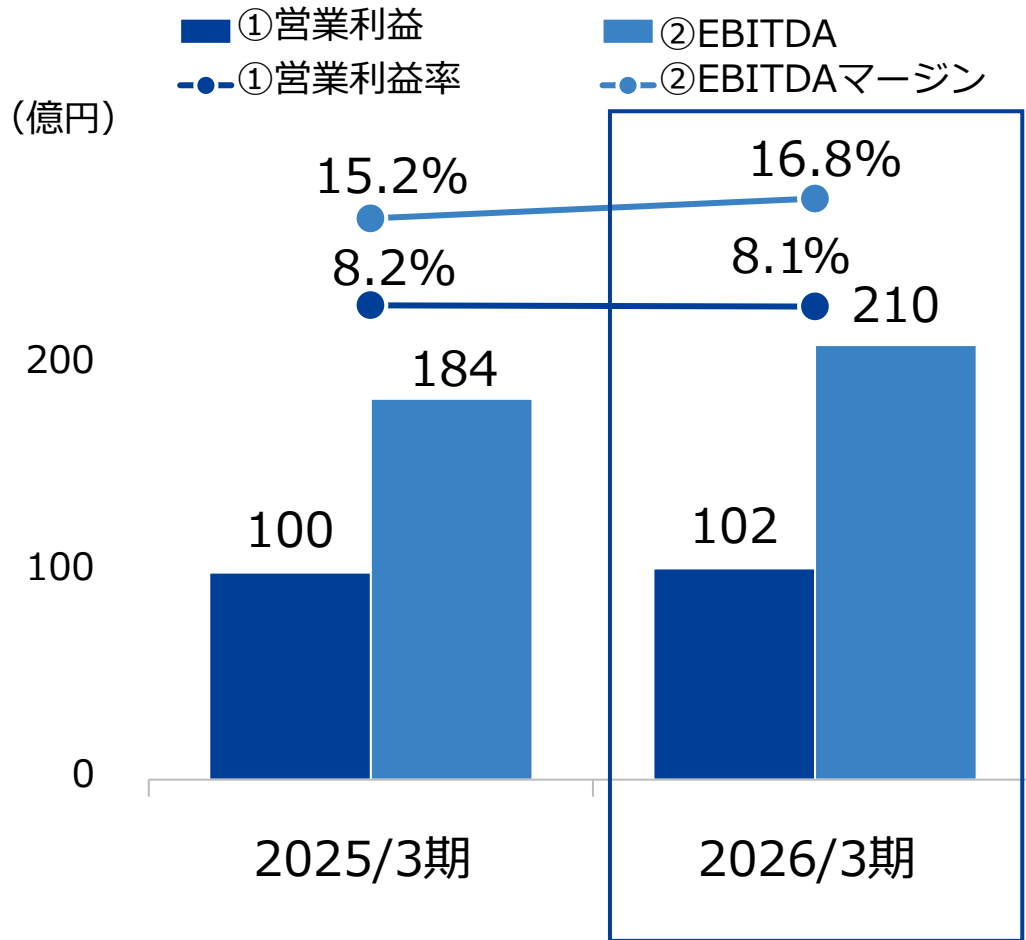
・ 将来の成長に向けた投資費用の主な内訳

項目	金額 (億円)
新工場	△3
人的投資	△11
研究開発	+1



連結営業利益・EBITDA

ビジョンケア伸長による売上総利益の改善により増益



1 営業利益 (前年同期比: +2.2億円 +2.2%)
営業利益率 (前年同期比: △0.1pt)

- 売上総利益: +25.6億円 (650億円→675億円)
1DAY販売拡大や国内での価格改定効果
- 販管費: +23.4億円 (550億円→573億円)
成長投資(新工場/人的投資)を継続追加ののれん償却費の計上

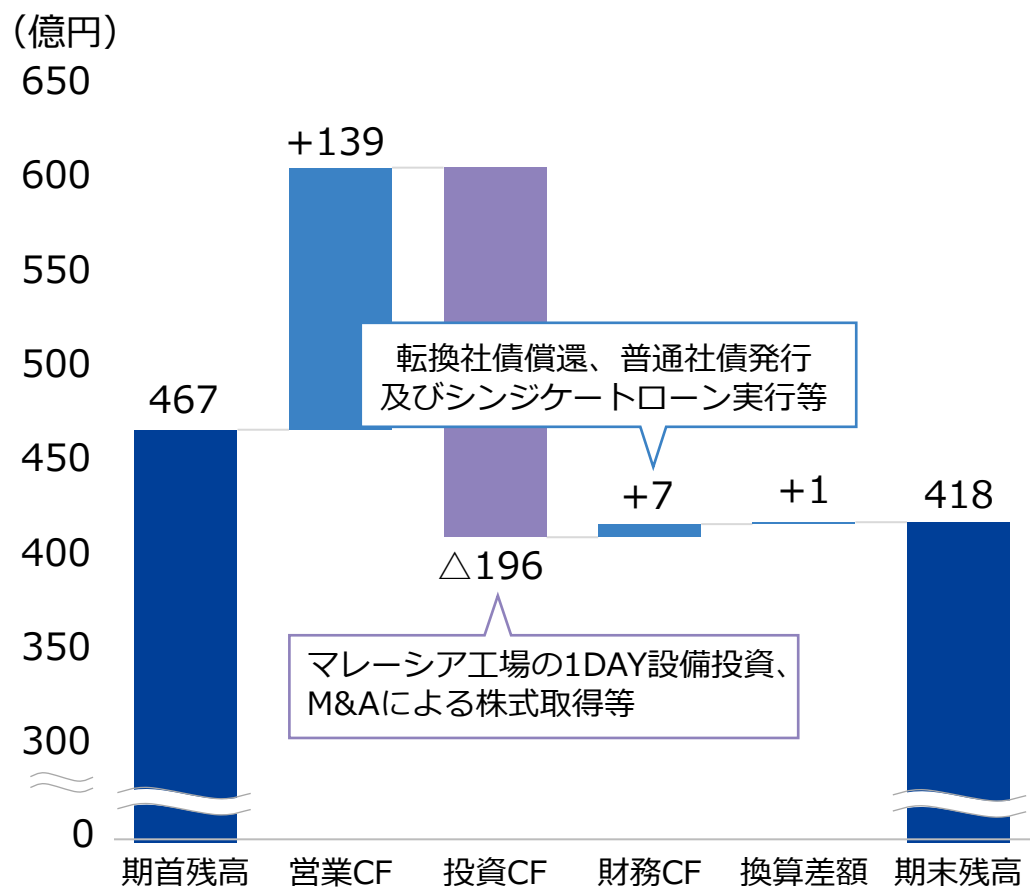
2 EBITDA (前年同期比: +25.9億円 +14.1%)
EBITDAマージン (前年同期比: +1.6pt)

- 減価償却費: +17.6億円 (79.6億円→97.2億円)
主に1DAY設備投資(マレーシア工場含む)分増加
- のれん償却費: +6.0億円 (4.8億円→10.8億円)
アーンアウトによる追加計上

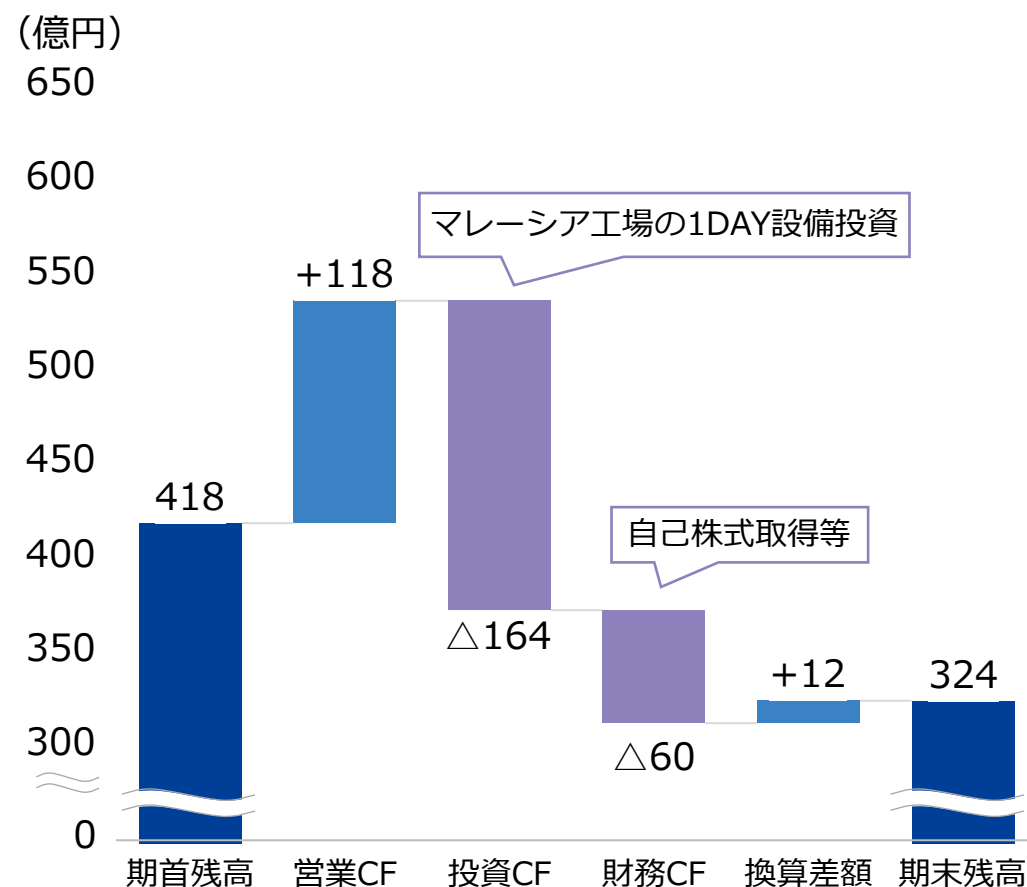


連結キャッシュフロー比較

2025/3期



2026/3期



Ⅱ.2027年3月期通期 連結業績予想と配当予想



売上高の内訳

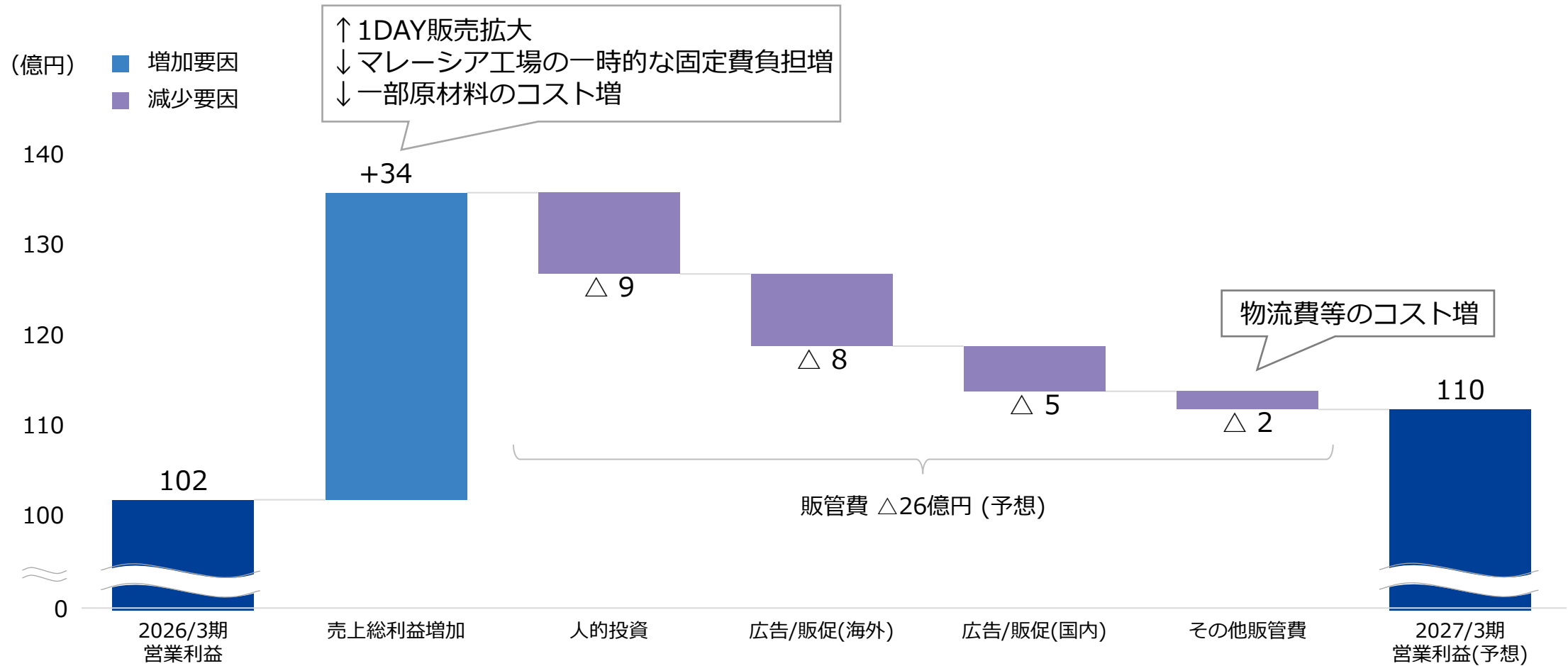
(百万円)	2026/3期	2027/3期 予想	前年同期比
売上高	125,605	133,000	+5.9%
ビジョンケア	116,523	124,000	+6.4%
1DAY	33,809	37,700	+11.5%
国内_メルスプラン	23,403	25,200	+7.7%
国内_物販	6,651	7,000	+5.2%
海外	3,755	5,500	+46.5%
オルソケラトロジー関連	14,539	15,000	+3.2%
その他コンタクトレンズ・レンズケア	68,174	71,300	+4.6%
ヘルスケア・ライフケア	9,081	9,000	△0.9%
(参考)			
1DAY+その他コンタクトレンズ・レンズケア	101,984	109,000	+6.9%
メルスプラン	50,687	51,700	+2.0%

* 2026/3期における実勢レート EUR : 175.6円、USD : 151.1円、CNY : 20.9円
 2027/3期(予想)における前提為替レート EUR : 180.0円、USD : 155.0円、CNY : 22.0円



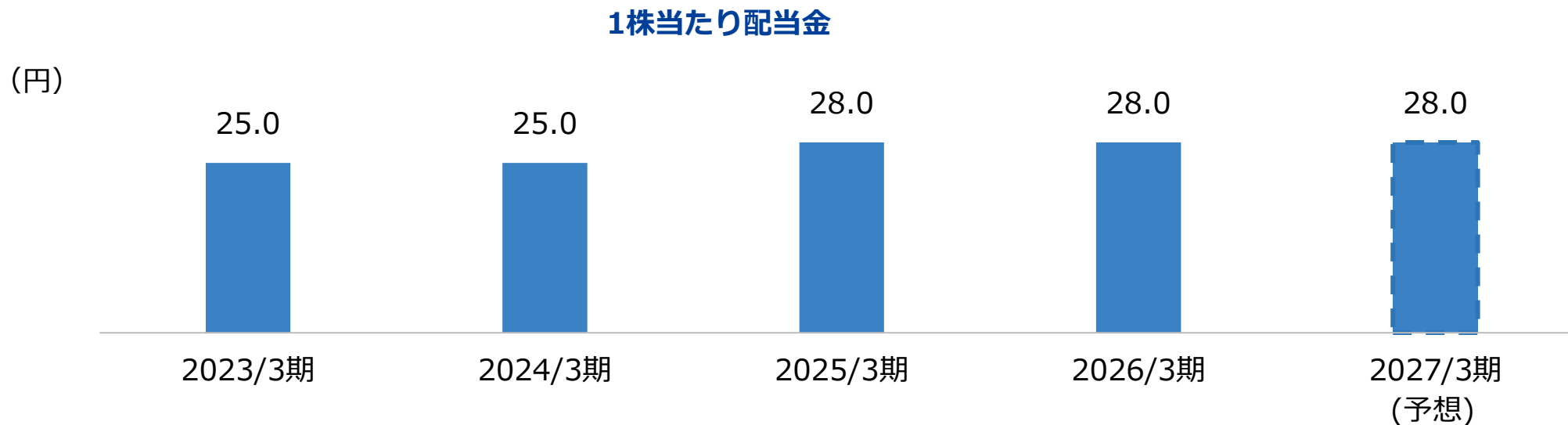
2026/3期実績と2027/3期予想の増減分析（営業利益）

中東情勢の影響があるものの、国内外での本格的な1DAY拡販により増益を見込む



株主還元方針と配当予想

配当方針（配当性向30%程度/累進配当）に従い、2027年3月期は28円/株を予想



	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期 (予想)
配当総額	19億円	19億円	21億円	20億円	20億円
配当性向	26%	42%	38%	35%	32%

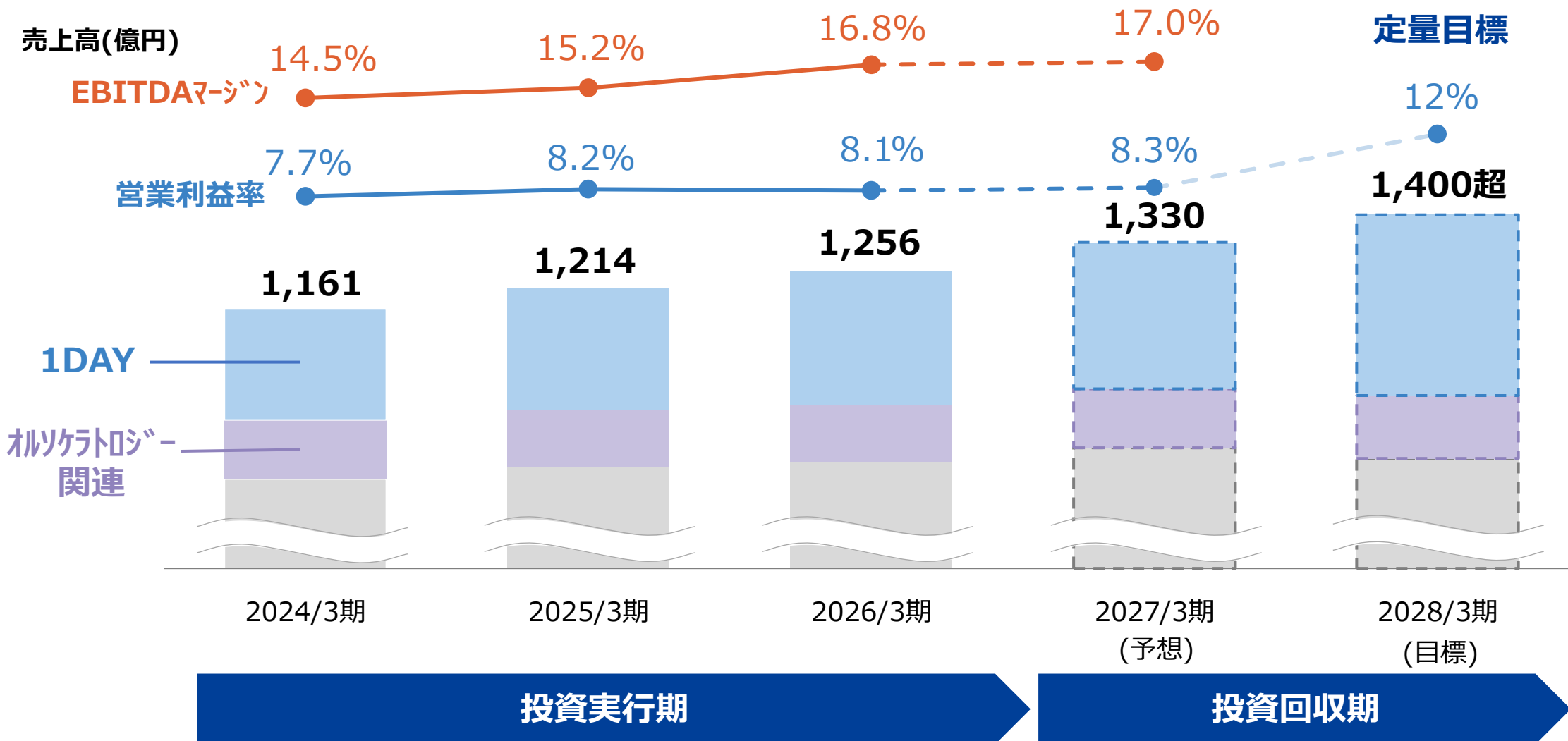


Ⅲ. 中期経営計画マイルストーン2027の進捗と今後の見通し



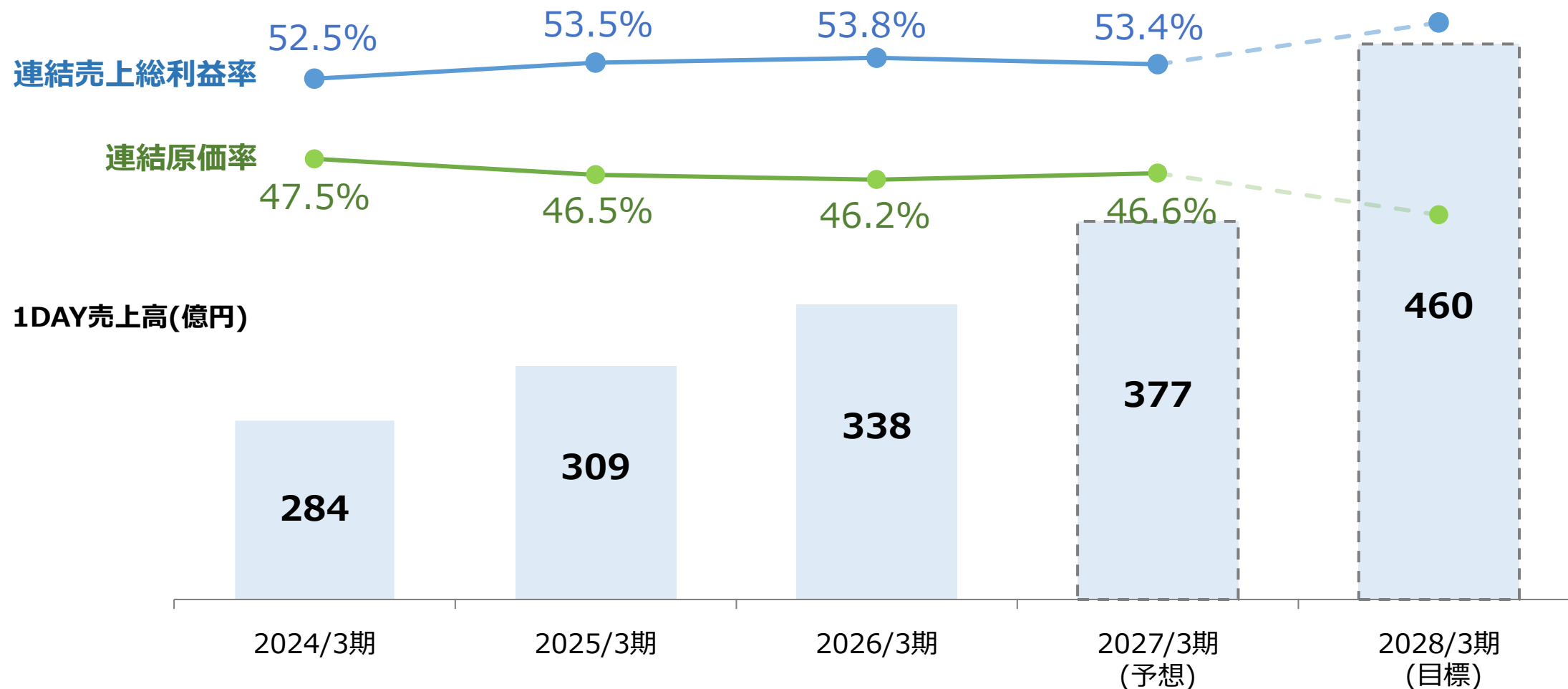
マイルストーン2027の進捗

投資実行期においてもEBITDA伸長、事業の収益力は拡大



マイルストーン2027の達成に向けて

海外を中心とした1DAYの販売拡大により利益率向上を見込む



「製品・生産・販売」の確立により、グローバル1DAY市場で持続的なシェア拡大を実現

メニコンならではのユニークな「製品」

独自のパッケージ「SMART TOUCH」による明確な差別化

SMART TOUCH



「生産・販売」の両輪による盤石なグローバル体制

市場成長を上回るペースでグローバルシェアを拡大

1DAYの
グローバル
トップ
プレーヤー

グローバル：1DAY市場とメニコンシェア

生産強化

- ・ シンガポール工場生産ライン増設
- ・ 各務原工場稼働開始

グローバル販売強化

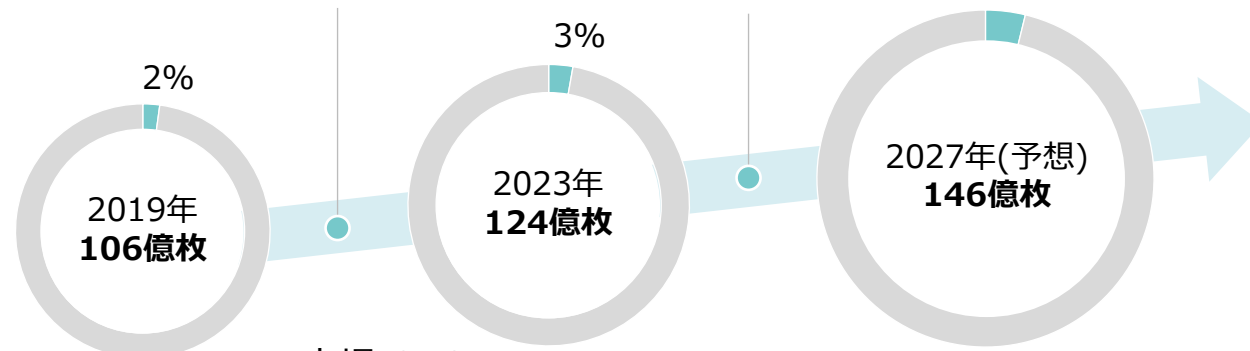
- ・ 大手量販チェーンとの提携開始

生産強化

- ・ マレーシア工場
- ・ シンガポール工場
- ・ 各務原工場

グローバル販売強化

- ・ 物流子会社運営開始
 - ・ 大手量販チェーンとの提携拡大
- 4%(目標)



1DAY市場 CAGR

+4%

メニコン CAGR

+10%

*OEM供給品は当社販売数に含まない (当社調べ)

参考資料

連結貸借対照表サマリー

(百万円)	2025/3末	2026/3末	増減額
現金・預金	42,046	32,608	△9,438
受取手形・売掛金	13,641	14,794	+1,153
棚卸資産	21,218	26,445	+5,226
その他	5,762	5,130	△632
流動資産	82,669	78,978	△3,690
有形固定資産	83,064	94,833	+11,768
無形固定資産	15,595	13,624	△1,970
投資その他	6,261	7,204	+942
固定資産	104,613	115,661	+10,740
資産合計	187,590	194,640	+7,050

設備投資や
自己株式取得等

1DAY工場
設備投資等

(百万円)	2025/3末	2026/3末	増減額
支払手形・買掛金	6,419	5,753	△665
短期有利子負債	3,234	6,478	+3,243
未払金	7,381	6,110	△1,270
その他	9,457	10,865	+1,407
流動負債	26,492	29,206	+2,714
長期有利子負債	71,857	67,703	△4,153
その他	3,111	2,623	△488
固定負債	74,968	70,326	△4,641
負債合計	101,460	99,533	△1,927
純資産合計	86,129	95,106	+8,977

2026年3月31日

自己資本比率	48.5%
ネットD/Eレシオ	0.4

現金・預金残高	32,608
有利子負債	74,181



2工場体制の構築による供給力強化と競争優位性の確立

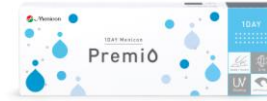


マレーシア工場



各務原工場

1DAY Menicon
PremiO
プレミオ



製品の優位性

優位性①

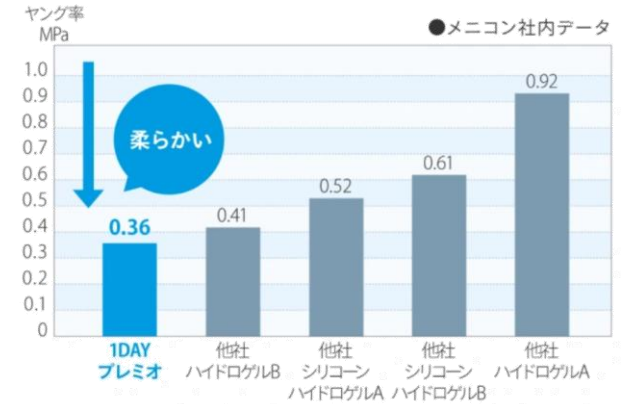
優れた装用感

柔軟なレンズ設計による快適な装用感

高い酸素透過性を維持しつつ、
ハイドロゲルレンズ並みの柔軟性による快適な装用感を実現

ヤング率※の比較 ヤング率が小さいほどやわらかいことを示します。

※ヤング率とは、素材の「硬さ」を表す指数の一つです。



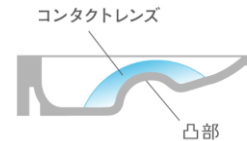
優位性②

SMART TOUCH

清潔を守るメニコン独自のコンタクトレンズケース

コンタクトレンズの内側が下向きで収納。
内側を触れることなく、裏表も確認不要で
簡単・清潔に装着できる。

装着はたったの3ステップ！



各地域の販売店/販売代理店とのパートナーシップ強化、マレーシア工場での生産開始に伴い、シリコンハイドロゲル素材の1DAYのグローバルでの販売拡大を推進

国内

自社製シリコンハイドロゲル素材の1DAYの国内販促活動を開始(2026/3期4Q~)



中国

オンラインサイトで自社ブランド品のラインアップを拡充しブランド認知度向上
シリコンハイドロゲル素材の1DAY販売開始
(2027/3期1Q~)



欧州・北米

地域量販チェーンとの新規販売開始および取引拡大
大手量販チェーン向け供給拡大 (2027/3期予定)

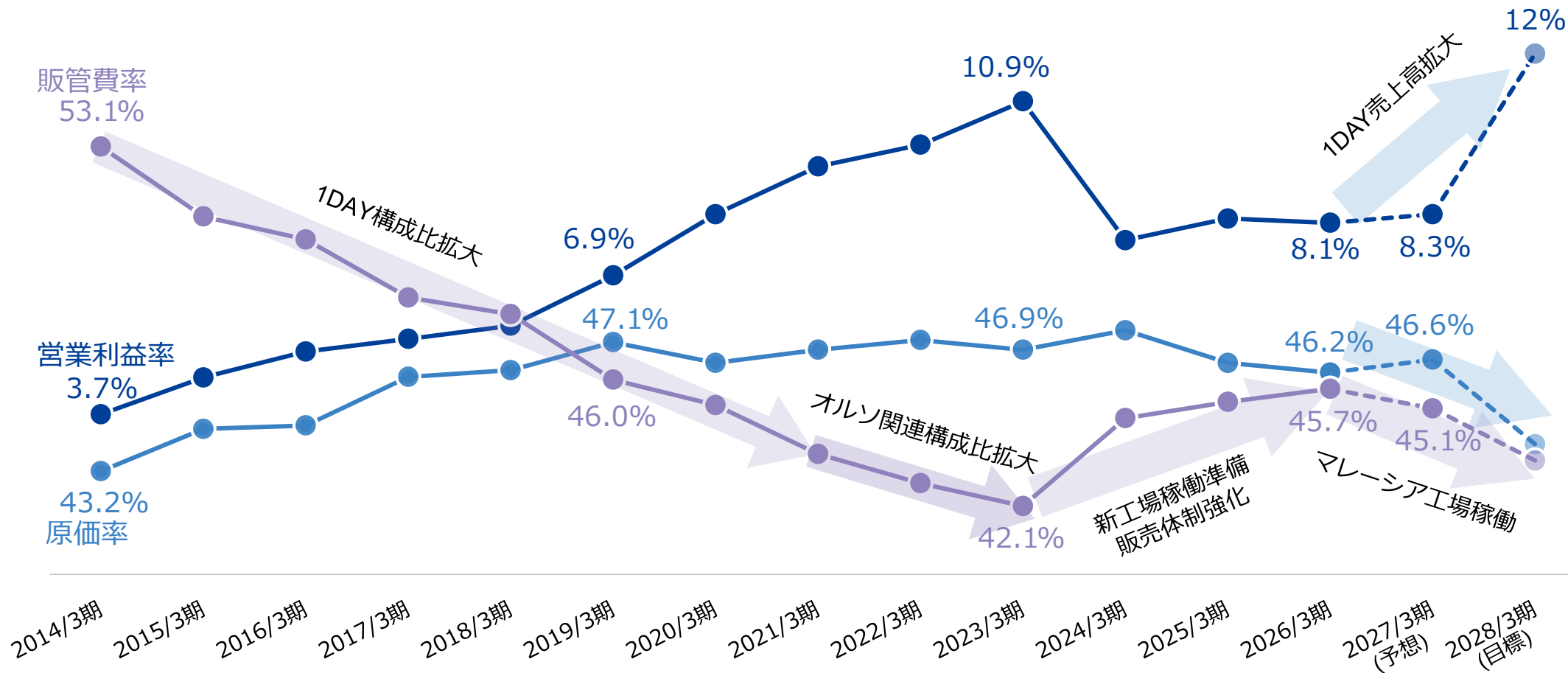


東南アジア

商品ラインアップ拡充による販売機会の拡大
メニコンブランドの認知向上に注力

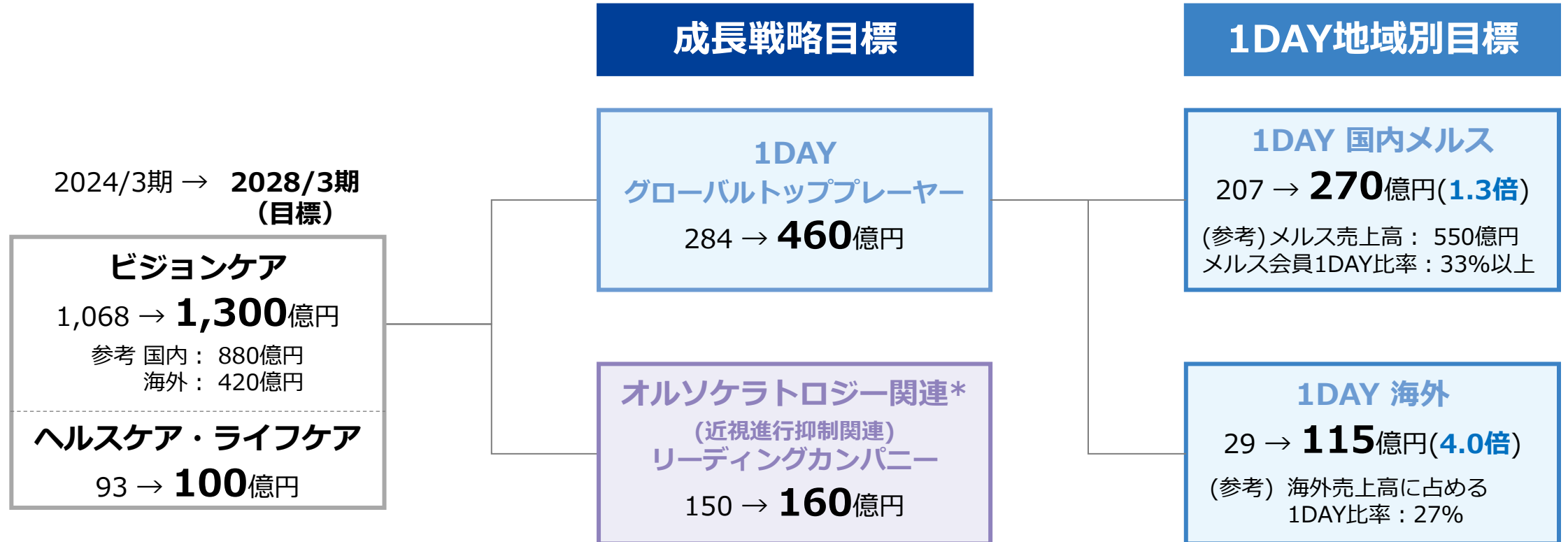


原価率・売上高販管費率・営業利益率推移



成長戦略目標 & 1DAY地域別目標

成長戦略を実現する事で目標達成を見込む



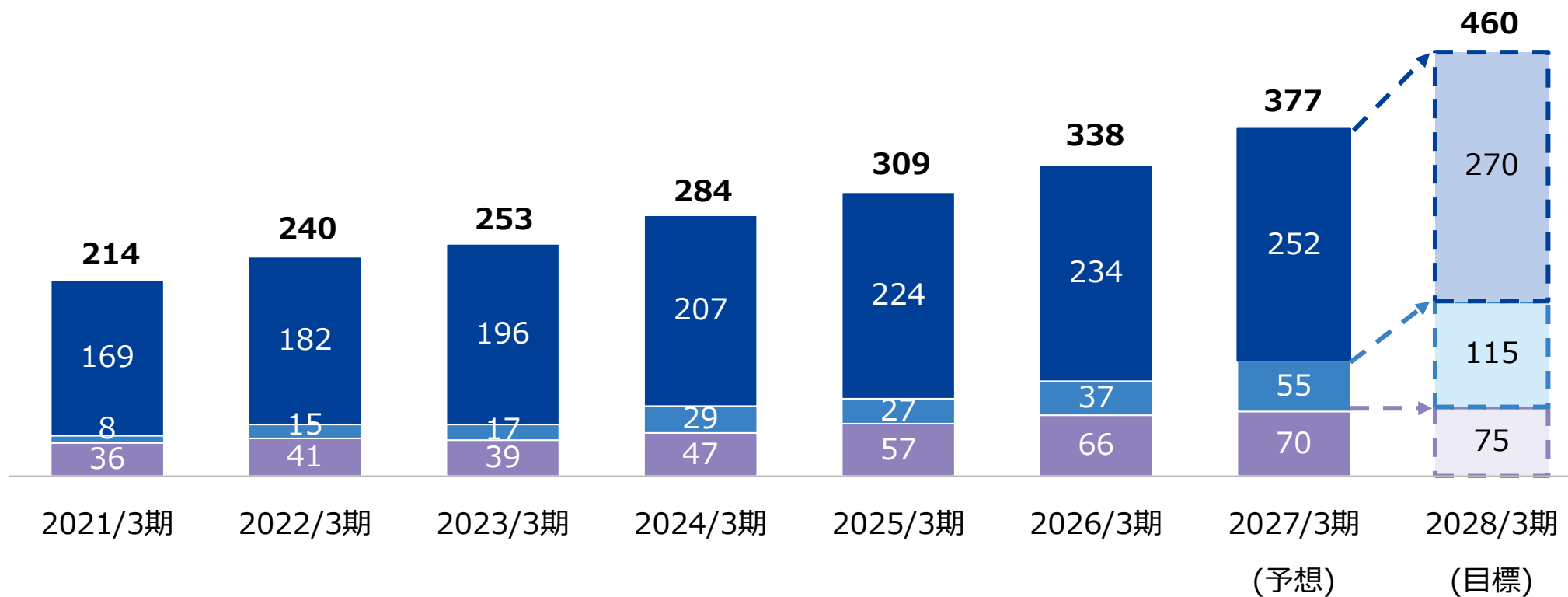
*オルソケラトロジーレンズ（グローバル）
及び レンズケア（アジア）の合計



1DAY売上高予想 (売上高の内訳)

生産能力増強に伴い、メルス(1DAY会員数増加)・海外(欧米中心に販売拡大)での伸長を見込む

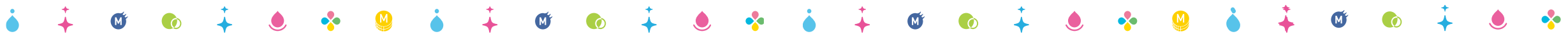
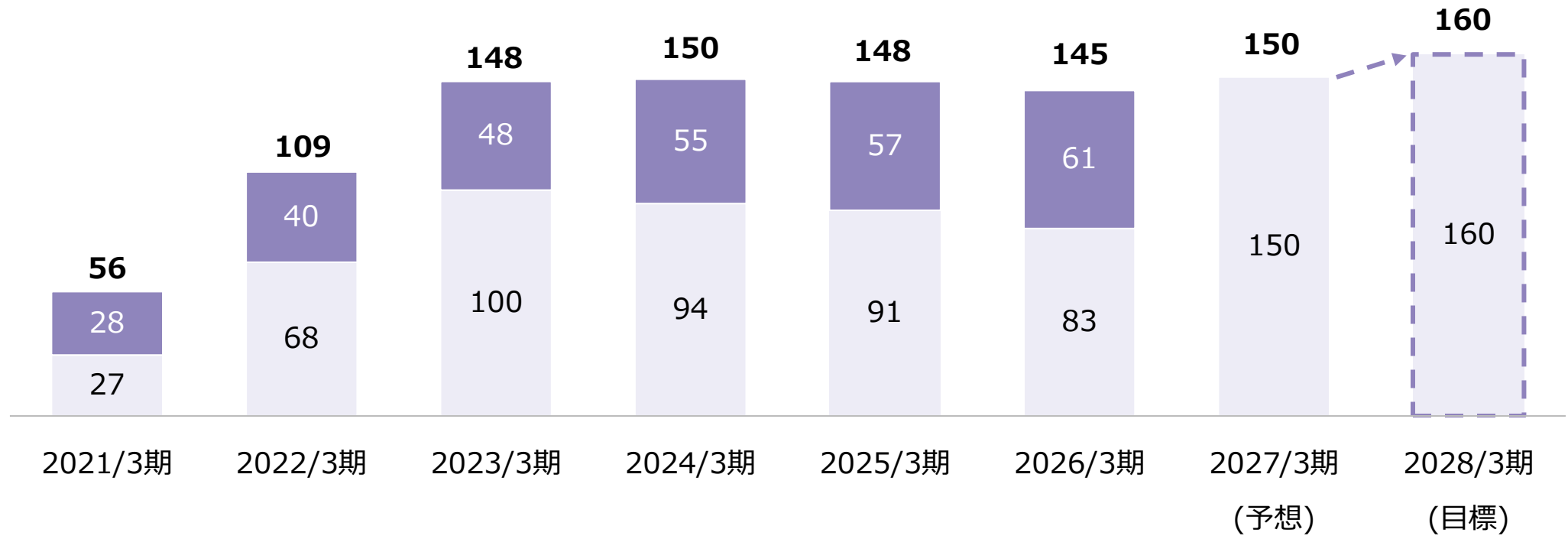
(億円) ■メルス ■海外 ■国内物販



オルソケラトロジー関連売上高予想（売上高の内訳）

中国市場成長停滞するも、その他アジア地域での伸長を予想

(億円) ■ オルソK(グローバル) ■ レンズケア(アジア)



ヘルスケア/ライフケアの各領域において、重点領域を位置付け取り組みを推進
資本収益性を意識しつつ第2の柱となる事業創出を目指す

ヘルスケア

【重点領域】ペプチド事業

自己集合性ペプチドを応用した医療機器開発事業。コンタクトレンズ開発で培った材料設計技術を活用し、医療分野への応用を推進。

主な販売先

医療機関（眼科）

取扱製品

- ・シアーズ（緑内障手術時視野確保材）
2026年5月 発売
- ・ヴァーテ（吸収性骨再生用材料）
2026年2月 認可取得



ライフケア

【重点領域】グリーンインフラビジネス

自然の持つ多様な機能を、都市計画や防災、環境保全に活かすアプローチ。環境バイオ事業の新たなドメインとして、緑地管理の負担軽減に貢献。

主な販売先

ホームセンター、ゴルフ場、商業施設、EC販売

取扱製品

- ・ナルオターフ（省管理型姫コウライシバ）
2025年2月 発売



免責事項および将来見通しに関する注意事項

免責事項

- この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社メニコン（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです
- 当資料に記載された内容は、2026年5月14日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります
- 投資を行う際は、必ず投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません

お問合せ先

株式会社メニコン 財務&IR部

TEL : 052-935-1646

E-mail : menicon-ir@menicon.co.jp

www.menicon.co.jp/company

